

第 2 5 事業年度

事業計画書

自 平成 2 4 年 4 月 1 日

至 平成 2 5 年 3 月 3 1 日

社団法人 十勝釧路管内さけます増殖事業協会

〒080-0801

帯広市東 1 条南 2 丁目 1 番地

TEL 0155 (25) 0722 FAX 0155 (25) 0725

<http://homepage3.nifty.com/tokachikusirosakemas/>

E-mail : sakemasu-obihiro@nifty.com

目 次

平成24年度 基本方針	1～2
事業計画	3
1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業	3～4
(1) 親魚捕獲採卵事業	
(2) ふ化放流事業	
(3) 高品質化推進事業	
2. 増殖施設、捕獲施設整備事業	4～5
(1) ふ化施設整備計画	
(2) 捕獲施設整備計画	
3. ふ化放流事業助成事業	5
4. さけます資源保護対策	5～6
(1) 試験調査事業	
(2) 教育研修事業	
(3) 密猟防止対策事業	
(4) 河川環境保全対策事業	
5. 釧路川資源調査事業	6
6. 受入並びに負担事業	6
(1) さけ・ます増殖事業支援事業（基準事業費）	
(2) 秋さけ資源増大対策資金	
7. 施設整備5ヶ年計画（平成24年～28年）	7
収支予算書	8～11
平成24年度ふ化放流事業・捕獲採卵事業収支予算内訳	12
平成24年度会費の額及び徴収方法	13
別表 1	14
別表 2	15

平成 24 年度 基本方針

平成 23 年度の十勝、釧路管内における秋さけ定置漁業は、2 年連続の低レベルの漁獲となり、漁期前の来遊予想の通り、不漁で終始し、最終的に数量においては、例年よりもかなり低かった前年度を、さらに 22% も割り込む 210 万尾に止まり、近年にない大不漁のうちに収束する結果となりました。また、金額においては、全道的に単価が高めに推移したこともあり、数量の落ち込みを反映するに及ばず、対前年比 98% の約 35 億円となったものの、2 年連続で 35 億円という極めて低いレベルで終わり、総体的に秋さけ定置漁業の成績は非常に厳しい結果となったところであります。

一方、河川における捕獲採卵事業については、来遊予想が極めて厳しいため、当初から必要補獲数の確保が相当困難との見方から、漁業者の皆さまの苦渋の判断のもと、漁期当初から異例の自主規制措置が断行されたところであります。その結果、十勝川で 20 万 5 千尾、釧路川で 7 万 5 千尾、広尾川で 1 万 4 千尾、そして歴舟、幌戸、藻散布、チョロベツ等の補完河川や非捕獲河川での 2 万 3 千尾などを併せて計画数に達し、どうにか事なきを得た状況にあります。これも漁期当初から自主規制に取り組んだ漁業者の皆様の懸命なる努力の賜物と、あらためて感謝する次第であります。

しかしながら、前年度（22 年度）の水揚げが 35 億円という厳しい状況を反映して、財務運営が極めて厳しい状況に置かれていたことから、23 年度は年度当初からかつて経験がない短期資金の借入れを行い経営を行って参りましたが、23 年度も引き続き 35 億円という 2 年間で往時の 1 年分という驚くべき数字に止まったことから、財務運営が極めて逼迫する事態となり、24 年度に向けて、止む無く、本年 1 月 25 日に臨時総会を開催し、当面、向こう 3 年間について 3% の会費の値上げという、これまた異例の決断を漁業者の皆様に強いるところとなりました。このため、全道でも最も高いレベルの会費負担が会員たる漁業者の皆様に課せられたわけですから、漁業者の皆様からの貴重な浄財を預かって事業運営をして行くという基本的な認識に立って、経費節減はもとより、極めて慎重な財務運営、そして何よりも皆様の期待に応える事業の取り組みが求められているものと認識する次第であります。

次に、現在当管内において、大きな問題は釧路川における遡上不振であります。かつて十勝川と並び、20 万、30 万尾の遡上が見られたものが、平成 21 年度以降 10 万尾を割り、ここ数年 6 万尾から 8、9 万尾と低迷している状況にあります。これを反映し、釧路地区の水揚げの落ち込みが大きく、何とか元に戻す努力をして行かなければ大変な問題となります。このため、本年度から、遡上不振の要因の解明やふ化放流技術の改善等に関する総合的な調査を実施することとしており、各方面から注目されている状況にあります。なぜならば、近年、太平洋側一帯に不漁の傾向が強まる中、十勝川でも 22 年度の捕獲が 20 万尾を大きく下回り、他管内からの種卵の導入という事態となりました。つまり、十勝川といえども、今後決して油断の出来ない状況も垣間見られることから、先ず、不振の際立っている釧路川での調査を通じて将来に繋がる何らかのヒントを得て行くことが極めて重要なことと考えられているからです。従って、財務運営が極

めて厳しい中ではありますが、この調査については是非とも皆様の御理解と御協力を頂きたいと願います。

次に、施設整備であります。22年度的美留和ふ化場の改築、23年度の芦別ふ化室の新設など取り進めて参りましたが、財務運営が厳しい中、当面維持補修を基本的に凍結せざるを得ません。より充実した増殖事業の展開には、それに応じた施設整備が不可欠ではありますが、会費の値上げをお願いしている中では、さらなる負担を漁業者の皆様を求めることが非常に困難ですので、向こう3年間はこのような措置と致します。なお、今後の取り組みにつきまして、理事会、運営委員会での論議を通じて方向性を検討したいと考えておりますので、皆様の御理解をお願い致します。

以上のことなどを踏まえ、本年度の基本方針として

1. 現下の厳しい財務運営に鑑み、経費節減に最大限努めながら、皆様の要望に応えるべく事業運営を進める。
2. 釧路川におけるさけ資源総合対策のための調査を行うなど、管内の増殖事業の将来を見据えた取り組みを進める。
3. 施設整備は必要最小限とし維持補修を中心に進める一方、将来の方向性についての検討も進める。
4. 以上のほかに、
 - (1) 不断にふ化放流技術の向上に努める。
 - (2) 新法の定めに基づき、来年度の一般社団法人への移行の事務を取り進める。

今さら言うまでもなく、本協会の使命は、浜の地域産業として大変重要な位置を占める会員皆様の定置漁業の経営安定と地域経済の活性化を図るために、安定的なさけ資源の造成を行っていくことでもあります。財政状況が極めて厳しい折ではありますが、これを認識の基本において、本年度も例年どおり2億1,230万尾の放流目標のもと、さけのふ化放流事業を行って参りますので、その円滑な推進につきまして、会員各位の一層の御理解、御協力をお願い申し上げますとともに、関係機関の御指導と御協力とを併せてお願い申し上げます。

事業計画

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

当協会の基幹事業であり、会員皆様の貴重な会費によって運営しております。さらに、この事業の円滑な運営には基準事業費の受入は不可欠で、昨年度同額の 247,600 千円が本会に給付されます。この制度のあり方を十分理解し、効率的、合理的な運営に努めて参ります。

(1) 親魚捕獲採卵事業

この事業は、全道的に各管内増協が北海道から業務委託を受けたなかで、特別採捕許可を受けて実施しております。本年も昨年と同様に、捕獲は3事業河川及び5補完河川、昨年から新たに特別採捕許可を受けました3非捕獲河川の計11河川で実施致します。

事業河川である釧路川については6月下旬にはウライを入れ、親魚捕獲体制に万全を期して参ります。なお、釧路川について採卵数が計画を充足できない事が予想されますので、昨年同様に補完河川、非捕獲河川、又は十勝川で種卵確保の対応を致します。

また、広尾川についても同様に補完河川、十勝川からの種卵確保により対応致します。

系群保全河川である十勝川で不測の事態が予測される場合は、十勝・釧路管内で漁業者が協議し、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会等を通じて網上げ等の措置を講じて頂き、河川遡上を促し親魚確保に全力を注ぎ種卵を確保して参ります。

不要親魚等の売却についても、3事業河川と5補完河川と3非捕獲河川で行い、各漁協に捕獲業務を委託している補完河川については、経費に充当するよう全額を戻します。事業河川は総売却代金から諸費用を控除後、負担率の定めにより算出した金額を道増協に納付致します。

これらの親魚等については例年通り帯広地方卸市場、釧路市漁協市場、広尾漁協市場、また補完河川、非捕獲河川については最寄りの市場に上場致します。

親魚売却計画

(千円)

区分	売却額	消費税	販売諸費	差引残額	道増協負担金	摘要
事業河川	29,000	1,450	1,930	25,620	2,560	10%負担
補完河川等	1,000	50	70	880		
合計	30,000	1,500	2,000	26,500	2,560	

(2) ふ化放流事業 (別表1及び2の資料参照)

北海道が策定したふ化放流計画に基づいて、健描な稚魚を成育し適期に放流することを目標に、万全の体制で取り進め致します。

ふ化放流事業については、二次飼育を含め21ヶ所の飼育施設と、資源の均等化と陸上施設の不足を補完する目的で、漁港内及び海浜域9ヶ所の海中飼育施設において、関係機関のご指導のもと14名の技術職員と臨時雇員、並びに各漁協・定置部会のご支援を得て適期放流と健描の育成に努めます

二次飼育の餌料については本会の対応としておりますが、事業費に対しても助成事業として取り進め致します。

[平成 24 年度 さけ捕獲採卵ふ化放流計画]

海区	地区	期 別	捕 獲 数 (尾)	採 卵 数 (千粒)	収 容 卵 数 (千粒)	稚魚生産数 (千尾)	稚魚放流数 (千尾)	内海中飼育等 放流数(千尾)	
エリモ以東	東 部	前 期	43,400	39,850	44,330	37,440	37,440	5,300	
		中 期	47,600	43,820	47,360	40,240	40,240	8,200	
		後 期	20,000	18,390	18,390	15,720	15,720	0	
		計	111,000	102,060	110,080	93,400	93,400	13,500	
	西 部	前 期	63,600	58,360	53,880	45,790	45,790	1,000	
		中 期	75,600	69,410	65,870	56,180	56,180	4,000	
		後 期	21,600	19,790	19,790	16,930	16,930	0	
		計	160,800	147,560	139,540	118,900	118,900	5,000	
	合 計			271,800	249,620	249,620	212,300	212,300	18,500

(3) さけ・ます資源高品質化推進事業について

さけ・ます高品質のための適地放流手法の開発し、漁業者の受益に見合った、道県を超えた広域的な放流費用負担の調整を目標とした事業であり、以下の通り実施致します。

補助対象尾数(千尾)	単価(円/尾)	適地放流調査稚魚 売却収入(千円)	施標業務受託収入 (千円)
3,700	3.2	11,840	1,969

2. 増殖施設、捕獲施設整備事業

(1) ふ化施設整備計画

各ふ化場の施設・設備等の整備については以下の通り実施致します。

(千円)

実施ふ化場名	整 備 内 容	事 業 費	摘 要
芦 別 ふ 化 場	稚魚搬送機購入 (フィッシュポンプ)	2,000	
オソツベツふ化場	池掃除機 10年償還 7年目	3,400	
更 別 第 2 飼 育 場	池掃除機 10年償還 7年目	3,400	
	水利権取得継続・ボーリング調査等	3,200	
	ポンプ交換修理	1,900	
合 計		13,900	

(2) 捕獲施設整備計画

捕獲場の施設、設備等の補修、改修等の整備については以下の通り実施致します。

(千円)

実施捕獲場名	整備内容	事業費	摘要
釧路捕獲場	番屋改修	10,000	
	ウライ設置・解体	4,200	
	台船クレーン	2,000	
幕別捕獲場(千代田)	ウライ設置・解体	6,200	
合計		22,400	

3. ふ化放流事業助成事業

各漁協、部会で実施している河川での稚魚二次飼育事業費に対して応分の助成を致します。

釧路地区

(千円)

幌戸	太田	チョロベツ	庶路	茶路	音別	小計
8,340	2,400	3,800	2,980	8,960	3,000	29,480

十勝地区

(千円)

更正	小紋別第1	小紋別第2	大樹	小計	その他	合計
5,440	1,280	1,590	1,200	9,510	2,890	41,880

4. さけ・ます資源保護対策事業

(1) 試験調査事業

(独)水産総合研究センター北海道区水産研究所さけます資源部(以下「北水研」)が行う、エリモ以東海区の幼稚魚河川分布調査、モニタリング調査、北海道が秋さけ来遊資源予測の向上と適切な資源利用を目的として実施する耳石調査等、回帰資源の高位安定と効率事業推進のための各種試験及び調査の実施に積極的に協力致します。

(2) 教育研修活動

北水研、(地独)北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場(旧道立ふ化場)、道増協及び関係機関が主催する技術研修会等に積極的に参加し、ふ化放流技術の向上を図ります。

(3) 密漁防止対策事業

管内の主要捕獲河川において、関係機関のご協力を得て密漁監視パトロールを実施して、密漁防止に努めます。

(4) 河川環境保全対策事業

管内における増殖河川の環境調査、及び汚濁防止のための監視活動、水質保全のための水質調査、開発建設部並びに北海道土木現業所が行う河川工事について、引続き関係機関との協力体制のもとに実施致します。

5. 釧路川資源調査事業

遡上が不振となっている釧路川の資源について、その要因や対策を総合的に調査分析するために、北海道、北水研、内水試、道増協、釧定協と連携し、24事業年度から調査を開始致します。なおこの調査は8年計画としてその概要は以下の通りです。

(千円)

年 度	標 識		河川調査	海洋調査	回帰調査	費 用 内 訳		備 考
	A L C	鱈カット				費 用	内管内増協負担	
23年	○					467	467	実績
24年	○	○	○	○		6,000	3,000	
25年	○	○	○	○		6,000	3,000	
26年	○	○	○	○	○	7,000	4,000	
27年					○	1,000	1,000	
28年					○	1,000	1,000	
29年					○	1,000	1,000	
30年					○	1,000	1,000	
					計	23,467	14,467	

6. 受入並びに負担事業

(1) さけ・ます増殖事業支援事業（基準事業費）

道増協が実施する増殖事業支援事業制度について事業費負担をし、さけ・ます稚魚飼育放流事業及び親魚捕獲採卵事業に対して助成金（基準事業費）を受け入れます。

なお、基準事業費については全道の各管内増協が漁獲金額に応じて負担する12億円を原資として、各管内増協が実施している稚魚放流数並びに採卵数を基礎として算出されます。

増殖支援事業費（千円）助成金	漁獲高割負担金（千円）	差引額（千円）
247,600	96,720	150,880

(2) 秋さけ資源増大対策資金

本協会が実施する増殖施設整備事業に充当する目的の、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会からの寄付金について、適正に管理運用致します。

7. 施設整備5ヶ年計画

財源が厳しい事から、向こう3年間、新設、大規模修繕工事は行わず、中小規模の維持補修を以下の通り実施致します。

施設整備5ヶ年計画

(千円)

年度	内 訳				費用
	新 設	大規模修繕	中規模修繕	ローカルその他	
22 (実績)		美留和ふ化場 183,455 (407,650)		66,240	249,695 (473,890)
23 (実績)	芦別ふ化場 120,189				120,189
24			釧路捕獲場 10,000		10,000
25			釧路捕獲場 10,000 芦別ふ化場 1,000 幕別ふ化場 1,000		12,000
26			釧路捕獲場 10,000 芦別ふ化場 2,000		12,000
27			標茶ふ化場 30,600 幕別ふ化場 4,000 芦別ふ化場 19,600	90,500	144,700
28	士幌・札幌ふ化場 200,000 (400,000)	札幌ふ化場 25,900 (51,800)	更別第2飼育場 10,000 幕別ふ化場 6,000	400	242,300 (468,200)
費用合計	200,000 (400,000)	25,900 (51,800)	104,200	90,900	421,000 (646,900)

収 支 予 算 書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	H24年予算額	H23年予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	70	100	△ 30	
特定資産利息収入	70	100	△ 30	
②会費収入	391,100	401,900	△ 10,800	
漁獲高割会費収入(秋)	346,500	345,000	1,500	
漁獲高割会費収入(積)	35,000	50,000	△ 15,000	
漁獲高割会費収入(春)	8,000	5,000	3,000	
漁獲高割会費収入(特)	1,200	1,500	△ 300	
会員会費収入	400	400	0	
③事業収入	31,969	40,225	△ 8,256	
親魚捕獲採卵事業収入	30,000	40,000	△ 10,000	
親魚等売却収入	(30,000)	(40,000)	(△10,000)	
資源造成事業稚魚売却収入	(0)	(0)	(0)	
業務委託収入	1,969	225	1,744	
施標業務受託収入	(1,969)	(225)	(1,744)	
④補助金等収入	259,440	262,320	△ 2,880	
施設整備事業国庫補助金収入	0	0	0	
道増協助成金収入	259,440	262,320	△ 2,880	
ふ化放流施設整備助成金収入	(0)	(0)	(0)	
適地放流調査稚魚売却収入	(11,840)	(14,720)	(△2,880)	
増殖事業基準事業費収入	(247,600)	(247,600)	(0)	
移管施設取得助成金収入	(0)	(0)	(0)	
⑤雑収入	1,110	750	360	
受取利息収入	50	50	0	
職員住宅料収入	960	600	360	
雑収入	100	100	0	
⑥他会計からの繰入金	0	0	0	
事業活動収入合計	683,689	705,295	△ 21,606	

科 目	H24年予算額	H23年予算額	増 減	備 考
2. 事業活動支出				
①事業費支出	164,340	175,719	△ 11,379	
ふ化放流施設整備事業費	4,550	12,000	△ 7,450	
試験調査事業費支出	7,300	4,500	2,800	
増殖研修事業費支出	1,500	1,500	0	
教育活動事業費支出	150	150	0	
事業負担金支出	147,340	154,769	△ 7,429	
道増協漁獲高割負担金支出	(96,720)	(100,347)	(△3,627)	
広域推進事業負担金支出	(0)	(0)	(0)	
増殖施設有償貸付負担金支出	(260)	(294)	(△34)	
ふ化放流事業負担金支出	(41,880)	(42,768)	(△888)	
親魚等売却負担金支出	(2,560)	(4,000)	(△1,440)	
高品質化推進事業負担金支出	(5,920)	(7,360)	(△1,440)	
親魚売却諸費用支出	3,500	2,800	700	
②ふ化放流事業支出	227,864	226,945	919	
③捕獲採卵事業支出	175,295	186,553	△ 11,258	
④管理費支出	54,765	57,870	△ 3,105	
役員報酬支出	6,000	6,000	0	
給与手当支出	16,375	15,505	870	
法定福利費支出	3,300	3,000	300	
福利厚生費支出	500	800	△ 300	
地代家賃費支出	2,350	445	1,905	
保険料支出	1,800	1,300	500	
賃貸料支出	1,800	1,930	△ 130	
水道光熱費支出	470	430	40	
車輛費支出	1,800	1,650	150	
旅費交通費支出	4,400	6,200	△ 1,800	
通信運搬費支出	900	850	50	
広告宣伝費支出	130	120	10	
租税公課支出	9500	14,600	△ 5,100	
接待交際費支出	500	700	△ 200	
印刷費支出	180	140	40	
備品費支出	50	50	0	
消耗品支出	500	500	0	

科 目	H24年予算額	H23年予算額	増 減	備 考
会議費支出	850	1,100	△ 250	
図書購入支出	130	120	10	
事務委託支出	0	0	0	
負担金支出	30	20	10	
修繕費支出	200	200	0	
支払利息支出(短期運営資金)	2,000	1,300	700	
雑支出	1,000	910	90	
事業活動支出計	622,264	647,087	△ 24,823	
事業活動収支差額	61,425	58,208	3,217	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	1,141	100,512	△ 99,371	
特別準備金取崩収入	0	0	0	
施設整備積立金取崩収入	1,141	100,512	△ 99,371	
(自己積立口取崩収入)	(0)	(9,112)	(△9,112)	
(秋さげ資源増大対策資金口)	(1,141)	(91,400)	(△90,259)	
②固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	1,141	100,512	△ 99,371	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	41,766	55,233	△ 13,467	
施設整備積立資産取得支出	41,766	55,233	△ 13,467	
(自己積立口)	(0)	(0)	(0)	
(漁獲高割会費1%口取得支出)	(35,000)	(50,000)	(△15,000)	
(退職給付引当資産取得支出)	(6,016)	(5,233)	(783)	
(役員退任慰労引当資産取得支出)	(750)	(0)	(750)	
②固定資産取得支出	20,800	103,487	△ 82,687	
土地購入支出	0	0	0	
建物建設(購入・取壊)支出	0	0	0	
構築物建設支出	10,000	0	10,000	
建物付属設備建設支出	0	66,083	△ 66,083	
機械装置購入支出	8,800	35,675	△ 26,875	
工具器具備品購入支出	0	1,729	△ 1,729	
車輛運搬具購入支出	2,000	0	2,000	
無形固定資産取得支出	0	0	0	
建設仮勘定支出	0	0	0	
投資活動支出計	62,566	158,720	△ 96,154	
投資活動収支差額	△ 61,425	△ 58,208	△ 3,217	

科	目	H24年予算額	H23年予算額	増 減	備 考
Ⅲ財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
	①借入金収入	100,000	100,000	0	
	短期借入金収入	100,000	100,000	0	
	財務活動収入計	100,000	100,000	0	
2. 財務活動支出					
	①借入金返済支出	100,000	100,000	0	
	短期借入金返済支出	100,000	100,000	0	
	財務活動支出計	100,000	100,000	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ予備支出					
	当期収支差額	0	0	0	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	次期繰越収支差額	0	0	0	

科 目	H24年予算額	H23年予算額	増 減	備 考
1. ふ化放流事業費支出				
職員給料手当支出	62,488	53,040	9,448	
臨時労務費支出	21,411	23,829	△ 2,418	
法定福利費支出	10,500	9,338	1,162	
福利厚生費支出	2,715	1,832	883	
施設整備費支出	0	7,350	△ 7,350	
施設補修費支出	5,012	1,751	3,261	
備品費支出	0	4,956	△ 4,956	
消耗資材費支出	7,649	7,105	544	
餌料費支出	44,672	44,520	152	
借上料支出	10,062	10,072	△ 10	
車輛費支出	7,359	7,744	△ 385	
燃油費支出	5,336	5,304	32	
旅費交通費支出	813	1,543	△ 730	
通信費支出	1,884	2,152	△ 268	
水道光熱費支出	3,447	3,167	280	
動力費支出	42,000	40,769	1,231	
会議費支出	16	27	△ 11	
雑費支出	2,500	2,446	54	
ふ化放流事業費支出計	227,864	226,945	919	

科 目	H24年予算額	H23年予算額	増 減	備 考
2. 捕獲採卵事業費支出				
従業員給料手当支出	70,623	81,103	△ 10,480	
臨時労務費支出	7,962	6,816	1,146	
法定福利費支出	9,766	10,535	△ 769	
福利厚生費支出	1,367	4,542	△ 3,175	
施設整備費支出	0	4,500	△ 4,500	
施設補修費支出	19,039	15,116	3,923	
備品費支出	2,000	1,627	373	
消耗資材費支出	11,841	9,608	2,233	
借上料支出	1,743	2,165	△ 422	
車輛費支出	24,935	23,650	1,285	
燃油費支出	8,575	7,948	627	
旅費交通費支出	1,554	2,023	△ 469	
通信費支出	1,141	1,171	△ 30	
水道光熱費支出	2,111	2,347	△ 236	
動力費支出	10,334	10,332	2	
会議費支出	182	237	△ 55	
雑費支出	2,122	2,833	△ 711	
ふ化放流事業費支出計	175,295	186,553	△ 11,258	

平成24年度会費の額及び徴収方法

1. 会費の額

(1) 定額会費

10漁業協同組合及び10市町村の会員に対して2万円の負担をお願い致します。

(2) 秋さけ定置漁業会員会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の9.9%とする

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.0%を施設整備のための積立とする。

(3) 春さけ定置漁業会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の2.0%とする。

会費は8月31日までに納入願います。

(4) 賛助会員会費

免除とする。

2. 入会金

新規に入会するものは2万円を納入する。

3. 会費の納入時期

事業の運営をスムーズに実施するため、原則として毎月水揚げ分の会費は、毎月10日までに納入願います。

別表-1

平成24年度サケ人工ふ化放流計画：全体（案）

(社)十勝釧路管内さけます増殖事業協会

海区	地区	支庁	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考		
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)					
えりも以東	東部	根室							落石	0	0	芦別 500 芦別 500 芦別 500	500 500 500	◎昆布盛 ◎三里浜 ◎沖根婦漁港	500 900 500	500千尾減 900千尾減 500千尾減		
												芦別 1,900 オソツベツ 1,800 オソツベツ 1,300 標茶 1,670	1,900 3,700	幌戸	3,700	1,900千尾増		
			(幌戸)				1,530						オソツベツ 800 標茶 2,000 オソツベツ 1,000	800 3,000	◎霧多布港湾沖 新川	800 3,000		
							590						美留和 490 オソツベツ 500	490 990	◎藻散布港湾	990		
							2,360						美留和 2,820 標茶 980	3,800	別寒辺牛	3,800		
			(別寒辺牛)				1,180						オソツベツ 2,000 美留和 2,950 標茶 0	4,950	◎厚岸漁港	4,950		
							1,180						標茶 990	990	◎老者舞漁港	990		
			チョロベツ				1,180						オソツベツ 2,000 標茶 990	2,000 990	チョロベツ ◎昆布森漁港	2,000 990		
			釧路	111,000 200尾増	102,060 300千粒増		10,800				美留和 33,810 標茶 14,480 オソツベツ 20,000 ※鶴居 10,800 芦別 21,400	28,710 12,300 17,000 9,100 18,100	120	◎釧路港東港区	120			
							1,180						美留和 4,600 茶路 990	4,600 990	釧路 ◎白糠漁港	4,600 990	300千粒増 4,100千粒増、3,400千尾増	
													茶路 9,590	8,190	茶路	7,200		
		地区計			111,000	102,060	0	8,020	10,800			110,080	93,400	31,400		93,400		
		西部	釧路								音別	10,600	9,000			音別	9,000	
														幕別 1,500 札内 3,000	1,500 3,000	厚内 ◎厚内漁港	1,500 3,000	
				幕別 千代田	145,600 200尾減	133,670 200千粒減	8,020	17,600			更別第1 ※十勝 幕別 札内	12,900 17,600 28,000 28,500	10,990 15,300 23,810 24,200			十勝	60,500	200千粒減
			(歴舟)							大樹 更生	0 5,900	0 4,930	更別第1 幕別 更別第1	1,700 1,800 1,370	当縁 歴舟	1,700 8,100	2,000千尾減 340千尾減	
			(小紋別)							小紋別	2,900	2,470	更生	0	小紋別	6,900	2,340千尾減	
													幕別 更別第1	2,000 2,430		2,000千尾増 340千尾増		
			(楽古)							楽古	3,540	3,000	広尾	400	豊似	3,000		
			広尾	10,600	9,690					広尾	21,400	18,200			楽古	3,400	(4,600千尾保留)	
													広尾	1,000	広尾	11,800		
													広尾	1,000	◎十勝港	1,000		
													広尾	1,000	音調津	1,000		
			日高	(猿留)	4,600	4,200				猿留	8,200	7,000			◎音調津漁港	1,000		
	地区計			160,800	147,560	8,020	0	17,600			139,540	118,900	20,200		118,900			
	海区計			271,800	249,620	8,020	8,020	28,400			249,620	212,300	51,600		212,300			

※(独)水産総合研究センター北水研

稚魚生産率85%、捕獲親魚の♀比45%、♀使用率90.0%、1尾当平均採卵数2,400粒

係数1.089*収容卵数=捕獲尾数

(楽古についての4,600千尾減については、施設整備後集約完了まで保留)

別表-2

平成24年度カラフトマス人工ふ化放流計画

(社) 十勝釧路管内さけます増殖事業協会

海区	地区	支庁	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
えりも 以東	東部	根室							落石	4,400	3,500			◎落石地先	0	1,500千尾減
		釧路	釧路 (幌戸)	4,300	1,900		2,500							幌戸	1,500	釧路川4,300千尾減 1,500千尾増
	地区計		4,300	1,900		2,500				4,400	3,500				1,500	
	海区計		4,300	1,900		2,500				4,400	3,500				1,500	

平成24年度ベニザケ人工ふ化放流計画 (稚魚生産)

(社) 十勝釧路管内さけます増殖事業協会

海区	地区	支庁	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	幼魚生産場	幼魚生産 移行数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)					
えりも 以東	東部	釧路	釧路	※1 60	60		60					静内	50	釧路	50			
		地区計		60	60		60			0	0		0		50			
	海区計		60	60		60			0	0		0		50				

※1 捕獲数策定指標 ♀比55% ♀使用率75% 1尾当平均採卵数2,100千粒

平成24年度ベニザケ人工ふ化放流計画 (幼魚生産)

2011年級群 (H23)

海区	地区	支庁	幼魚生産場	稚魚収容数 (千尾)	幼魚生産数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	幼魚放流数 (千尾)		
						供給場	稚魚数 (千尾)		0+秋	1+春	計
えりも 以東	東部	釧路	※鶴居	55	50			釧路	50		50
		地区計		55	50				50		50
	海区計		55	50				50		50	